



村田知章議員



「真鶴安心安全メールの用途拡大について」

真鶴安心安全メールは、不審者情報等の防犯情報や気象警報等の防災情報を利用者の希望するメールアドレスへ無料配信するサービスで、平成

21年4月より配信を開始しているが、このサービスの用途を拡大して、住民へのサービスを強化する考えがあるか？
今後、サービスの多様性、利用者のニーズに合わせた配信が必要になってくるものと思われる。

防災無線の放送が聞き取りにくいという家庭では、この防災無線で放送された内容のメールも同時に配信するサービスがあれば、その聞き取りづらさを補うことができ

また、耳の不自由な方も防災無線など、町からの情報が分からないというところで、メールで配信されれば便利だ。

各種イベントの開催案内も同時に行えば、イベントの広報につながるものと考え

メール配信サービスの用途拡大は、新しい時代の住民サービスとして、大変有益なものと考え



ル配信サービスの拡大について、どのような考えがあるのか？

真鶴町 安心安全メールの登録者数は558人で、昨年4月から2月現在まで63件のメールを発信しています。安心安全メールでは、危機回避のためのメールサービスのため、危機回避の情報と混同しないために、他のメールの配信は検討していません。

一般質問

青木 巖議員



産業医は職場のワケチン

「職場におけるメンタルヘルスと労働環境について」

現在、役場で労働衛生管理体制に関する計画の作成及びその実施、評価、改善を行っている状況と、健康管理等に関する知識について必要な要件を備えた産業医、衛生管理者、衛生推進者等の労働衛生管理体制の整備・充実とその職務の明確化を行っている現状について伺う。

真鶴町 〇A機器の導入による処理分野の拡大や地方分権での事務移譲による事務量の増加、行財政改革推進による職員数の削減などの状況の中、さまざまなストレス要因から心身症などにつなが

ることが懸念されます。健康な心で仕事を進めるためには、職場のチームワーク作りやコミュニケーションの質を高めること、良い人間関係を築くことが必要であることから、組織の中での取組みも重要です。

私は、気候の変わり目や年度末などの業務量が増える時期など、折にふれて職員には健康に留意するよう話をしています。また管理職には、職員の心の問題を含め、健康状態をよく把握するよう指示してきました。

身心ともに健康を保ち、充実した気持ちで仕事に取り組めるようにしていきたいと思えます。

真鶴町職員安全衛生管理規程」を策定し、施行をいたしました。この規程に基づく組織体制ですが、まず、法では設置義務はありませんが、総括安全衛生管理者として副町長を充てています。



業医につきましては、24年度当初予算に新たに計上させていただいた報酬により町長が選任することとしています。

また、衛生委員会につきましては、前述いたしました選任者及び職員により構成し、労働環境の改善や健康保持に関する審議、職場の巡回等を行っていきたくと考えています。

なお、現在のメンタルヘルス対応ですが、各所属長や本人からの報告、相談を受け、連携して職員の相談に応じたり、市町村共済組合で実施している「心と体の相談窓口」や「心の相談ネットワーク」などへつなげる体制もできています。

また、病気休暇等を取得する職員には、職場復帰がしやすいよう、真鶴町職場リハビリテーション実施要綱や仕事がかからない、こなせないなどの悩みがある職員は、人事異動希望申告制度により配置換えを、願い出ることも可能となっています。

一般質問